

WORKS

Empower&Energize

No125
2010/11

名東福祉会は名古屋市と日進市を中心に
知的障害者を中心とする福祉活動を行っています

奈々枝さんを 追悼して

理事長 加藤 久和

母、奈々枝は兄が障害を持って以来、56年間、障害がある人の幸せを願い、一日たりとも休まない人でした。休日でも旅行に行ったりするとき施設の見学を怠らず、お土産屋や食堂に入っても授産製品のヒントを探していました。起きている時の話題はすべて福祉に関する事ばかりで、正に生涯を福祉に捧げた人であったと思います。

奈々枝さんは昭和3年に東京で生まれました。奈々枝さんの父はもともとは伊勢神宮にゆかりのある英虞湾に面した村のある小さな神社の宮司の家系の人でした。奈々枝さんの育て方は奈々枝さんが長女であったこともあり、たいへん厳しかったようです。奈々枝さんの母は93歳まで生きた方ですが明治生まれの武家の人でしたから、ひとりおりのたしなみを身につけるためにこれまたたいへん厳しい育て方をされたと思います。

戦争時代に入ると、奈々枝さんの父は病死し、兄は陸軍の学校に志願した後、戦争で亡くなり、奈々枝さんは兄弟を背負って戦争の中を家族を守って生きる立場になりました。奈々枝さんは看護学校に入り、戦争中は看護婦の見習いとして奮闘しました。住んでいた大阪の和泉市が焼夷弾で攻撃されたとき、なすすべもなく死んでいく人たちの看護はとてみたいへんだったことです。

戦争が終わり、兄が生まれてからの障害者福祉に関する奮闘ぶりはこちらで紹介するまでもないことですが、正に筋金入りの日本女性だったことに違いはありません。

奈々枝会長の福祉活動の前半30年はわが子の障害の治療や教育を通じ、社会の問題と向き合った時代でした。この時代に、名古屋市に様々な福祉制度が生まれましたが、ほとんどの障害者福祉制度にかかわりを持ちました。特殊教育の関係機関とも強い連携を持ちました。また名古屋手をつなぐ親の会の創設にかかわり、社会福祉法人化を

成し遂げるまで発展させたことは大きな功績だったと思います。名古屋市の福祉施設に対する民間福祉施設運営費補助金についても、親の代表としてかわりを持ちました。里親制度や相談事業、いこいの家など、当時としてはとても進んでいたもので、この制度によって優れた人材が名古屋から多く排出されたことは否めないと思います。

後半の30年は理想とする地域福祉の実現に向け、名東福祉会を創立し、地域の先頭に立って実践を継続したことだと思えます。メイトウ・ワークス、太白ワークス、はまなすと次々に通所施設を建設し、障害がある方の学校卒業後の対応にあたりました。また、親の高齢化に備えレジデンス日進や上の山ホームを創設しました。活動の場は変わりましたが、60年近くの長きに亘って、仲間の親と力を合わせ、わが子が地域の人たちとともに生きていくことができるよう命をかけた人生だったと思います。

戦後日本の障害者福祉の歴史とともに歩みましたが、福祉の実践家としても第一人者でしたが、いろいろな大

「加藤奈々枝会長を

偲ぶ会」

WORKS編集部

去る10月6日（水）、当法人後援会の主催により、日進市市民会館にて、「加藤奈々枝会長を偲ぶ会」が執り行われました。奈々枝会長の長年に亘る、幅広い活動そのままに、各方面から150名に及ぶご参加をいただきました。

会は2部構成となっており、第1部では、後援会長様の開会挨拶に続いて、縁の深い方々から追悼のお言葉をいただきました。第2部では、会食をしながら、皆様と会長との思い出話を通じて、改めて加藤奈々枝さんの温かいお人柄を偲ぶことができました。

皆様のお話に耳を傾けていますと、法人や施設の設立という社会資源のお話、障害をもった子どもを抱える親としてのお話、相談支援のお話、地域づくりのお話……と、現在の障害者福祉を構成する要素が全て詰まっていることに気づかされます。そして、それらを

加藤奈々枝さんという一人の女性が自然に包含していることに、驚き、励まされます。

ここでは、そんな皆様の思い出の一部をご紹介しますと思います。



人生にはたくさんの出会いがあり、私もたくさんのお会いをしました。奈々枝先生との出会いが今まで一番大きかったと思います。加藤久和さんと奈々枝先生に手を取り教えてもらい、今の観寿々会があります。また、フロール会も、奈々枝先生のお力なくしてはできなかったと思います。奈々枝先生は、あちこちにたくさん種を播いていかれたと思います。これからどんな方達と出会うのかわかりませんが、こんな偉大な方との出会いは二度と訪れないのではないかと思います。（社会福祉法人観寿々会 専務理事）

私の様な若輩者が奈々枝先生とお話しさせていただく機会は、12年の育成会活動の中でなかなかなかったのですが、昨年入院された時に、ご無理を言ってお見舞いに伺わせていただきました。



奈々枝さんはいつも「先生」としてみなさんの上に立っていらつしやるので、息抜きができないらしく、ときどき悲鳴を上げて、お菓子を二つ三つ持って「いるる？」と訪ねてきてくれる、それが私も楽しみでした。入院なきつ頃は、病院へお茶を持っていつておしゃべりしました。そのくらいのお付き合いでお恥ずかしいのですが、奈々枝さんがいなくなつて、これからどうしようか、と考えているところです。（くらし友の会会員 ご友人）

40年くらい前にお会いした時、先生に生意気なことを言いました。それから10年程経ち、名東福祉会がメイトウ・ワークスを立ち上げた時に、入所をお願いしに伺いました。私にとっては高い敷居で、私の顔を覚えてなければいいな、と思っていたら、第一声が「あなたのこと覚えていますよ」。それから、今日までのお付き合いとなりました。

奈々枝先生を追いかけて、メイトウから天白、入所、とお世話になりました。先日訃報をお聞きした時、私は名古屋にいてなくて駆け付けられず、本当に悔いが残りました。外出先から、家へ帰つてからもペランダから、日進の方へお

育成会の創成期のお話、サマーキャンプやクリスマス会など、楽しいお話を聞かせていただき、障害のある方たちへの熱い思いに、私も火傷しそうなくらいでした。奈々枝先生がいらつしやらないければ、名古屋の育成会、名東区の育成会の今はありません。そのことを胸に、奈々枝先生の思いを受け継いで、次の世代に渡していけるようになりたいと思います。（名東区手をつなぐ育成会 会長）

祈りしました。今日、この席に参加できたことを本当にうれしく思っています。そして久しぶりに、一期一会でお会いしてきた方の懐かしいお顔を拝見して、これも奈々枝先生のご縁と思います。これからも子供ともどもがんばっていきたいと思います。(名東福祉会家族会員)

ご無沙汰しております。メイトウ・ワークス立ち上げからの関わりで、奈々枝先生の狭いアパートで布巾や手ぬぐいを作ったりしたことを、今お写真を見ながら思い出していました。奈々枝先生はとても優しい方で、何もわからないところから指導していただき、メイトウ・ワークスやいろいろな施設ができました。私も、これなら名古屋に帰ってこようか、と思うことが多いです。またお世話になることがあると思いますが、その時にはよろしくお願いたします。(元名東福祉会家族会員)

昭和57年にメイトウ・ワークスができた時、子供を16歳で入れていただきました。説明会の時に奈々枝先生は、「歩いて来れる人は、どんなに障害が重くても入れてあげますよ」とおっしゃい

ました。あの時のありがたい言葉が今でも忘れられず、感謝の気持ちを常に持ち続け、告別式の日にも、最後のお顔を見たときに、「ありがとうございます。これか」とつぶやいていました。これからもお世話になると思いますが、よろしくお願いたします。(名東福祉会家族会員)

天白ワークスが始まった当時、重度の自閉症の子を大勢受け入れてくれて、今の理事長が当時の所長でしたが、広



報に大変な様子が書かれています。その後、奈々枝先生は9年あまり天白ワークスの所長で、勉強会を作って、入所施設ができるまでにいろいろ勉強しました。70歳くらいになったら施設に入れようね、なんて話しながら、たくさんの方を見学しました。先生は遊ぶこともお好きで、いろんなところに行き、俳句の会なども開きました。最後に奈々枝先生とお会いしたのが6月29日、7月中には元気で帰るからね、とおっしゃった言葉が今でも耳に残っています。30年近い日々が走馬灯のように頭を駆け巡っていますが、これから名東福祉会を支えてがんばっていきたいと思いますので、みなさんよろしくご支援ください。(名東福祉会家族会員)

8月25日のお通夜の時、夜8時、最後の弔問の方が帰られたので、斎場をあとにすることになりました。冷房の館内を出ると、外はまだ昼間の暑さが残っていました。少し夜風が気持ちよかったです。斎場からレジデンスまで、ゆっくり歩いて戻りました。何故か足元が明るく、とても歩きやすいことに気づいて空を見上げたところ、お

月さまが目に入りました。その夜は満月だったのです。そのとき私の脳裏をかすめたのは、10数年前天白ワークスでやっていた俳句の会で詠まれた句のことでした。

「悲しみを 両手に受けて 月仰ぐ」

平成8年10月に詠まれた、奈々枝先生の句です。その場にいた私たちの気持ちを表すような一句でした。思えば、最重度の子どもを抱え、真っ暗な道をさまよい歩いていたら、その夜の月の道を照らしてくださったのが奈々枝先生でした。子供に關しての悩み、私自身の愚痴など、先生はいつも優しく聞いてくださいました。母のようにゆっくりと話される先生に、いつか迷いが飛んでいき、肩の力が抜けていくのが常でした。奈々枝先生、長い間本当にありがとうございました。これからはどうぞ、ごゆっくりお休みください。そして彼の地から、いつまでも私たちをお見守りください。(名東福祉会家族会員(手紙))

奈々枝さんとの出会いは古く、40年くらい前になります。私は名古屋の、ある児童館の館長になりました。そこ



は雑居ビルで、その中に名古屋市手をつなぐ育成会の、当時は「親の会」といいましたが、事務局もありました。私が怪我で入院している時、ビルの地下に水が入り、育成会の事務局が水浸しになってしまいました。奈々枝先生はじめ役員のみなさんが、私の入院している病院にお見えになり、「事務局が水に浸かってしまって大変なので、どこでもいいから空いている部屋を貸せ」と、ベッドの上で談判になってしまいました。結局は、無事に会議室のよう

なところを使っていただけのことになりましたが、このように、出会いから何となく、こちらがお願いをされる方でした。

それから奈々枝さんは、15年ほど育成会の事務局長をおやりになったでしょう。私の方はずっと経つてから障害者スポーツセンターの館長になりました。そのときには、名東福祉会を作る、メイトウ・ワークスを作る、ということまで動いておられました。私も片棒の先くらいを担がせていただき、スポーツセンターの最初の知的障害の利用者というのは、お祭りで使っていたいただいたメイトウ・ワークスのみなさんでした。その後、役所を定年退職して、あさみどりの会へ来たんですが、今度入所もできるから理事を引き受けると、いうことになりました。それからもう10年ほど経つでしょうか、とにかく奈々枝さんが元気なうちは、という約束でしたが、今後も、奈々枝さんの遺志を継いで名東福祉会を盛り立てていく久和理事長の足手まといにならないよう、お付き合いしていこうと思っています。(名東福祉会 理事)

あとがき

奈々枝会長のお人柄に近しく接することができるようになったのは、会長がメイトウ・ワークスに所長として戻られた頃からなので、10年ほど前からということになります。当時、私は主任指導員でしたが、何度か施設協会の研究大会、式典等にお供させていたこともあり、いくつもの名言をいただいております。

「知らない道をドライブするのが好きなのよ。行き止まりになったらどうする？なんて心配してくれる人もいるけど、バックすればいいと思ってるから。」
「どんどん、外へ出て行って、発言したり、勉強したりして欲しい。自分が思っていることをそのまま言えればいいんだから……最後はハツタリでもいいのよ。」

当時すでに70代の半ばであったはずですが、茶目つけたつぶりな笑顔に、幅広い活躍を支えるバイタリテイのよくなものを感じました。

今、曲がりなりにも外に出ていく機会が増えて、研修会での講義や発言の

あり方など、人から聞かれることもありますが、「……最後はハツタリでもいいんだよ。」と、いつの間にか付け加えていることに、最近気が付きました。(小)



ご寄付ありがとうございます

平成22年4月29日～平成22年9月30日

◆メイトウ・ワークス

熊谷哲弥様 山田信二様 西村宏一様 山口悠里様

◆天白ワークス

伊藤鉦一様 谷本幾史様 水谷義孝様 永宮賢治様 竹田正彦様
竹田文子様 安達恭兵様 丹羽文芳様 村山光子様 三鍋敦子様
大村茂夫様 渡邊健二様 江口敏比古様 安達廣美様 石村リキ子様
杉本孝郎様 石村博様 村口ネルミー様

◆はまなす

牧公三様 山田幸造様 はまなす家族会様

◆レジデンス日進

藤本義久様 吉田征一様 森真由子様 レジデンス日進家族会様

加藤久子様 田中利幸様 富成英一様
上ノ山農園名東福祉会支援の会様

名東福祉会のホームページ

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>

●社会福祉法人 名東福祉会

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4
TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●メイトウ・ワークス

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303
TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

●天白ワークス

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327
TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

●デイケア はまなす

〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911
TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

●レジデンス日進・ハートフルアクト日進

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4
TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●天白ホーム

●上ノ山ホーム

●児童行動療育センター「たけのこの家」

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上の山 14 番3
TEL 052-800-2203 FAX 052-800-2204

●焼き菓子の店「ロト」

〒470-0124 日進市浅田町平池 112-3
TEL 052-808-6555 FAX 052-808-6555